

事務事業評価シート

(H.29)No.	1108	(H.28)No.	1108
-----------	------	-----------	------

事務事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	340510
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	林業振興対策費	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	美しい森林づくり基盤整備交付金事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
森林を公共財産ととらえて、下草や広葉樹の導入を目的とする間伐を継続的に実施し、針広混交林など多様で力強い森林づくりを行うことによって、森林の持つ公益的機能の高度発揮を図る。
事業内容
【森林環境創造事業】 ①赤目町長坂地区(45.97ha)②青蓮寺地区(41.84ha)③赤目四十八滝(65.39ha)の下草や広葉樹の導入を目的とする調査、間伐、受光伐、広葉樹植栽等を継続的に実施。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)		H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	名張市布生地内の森林(4.63ha)において間伐を行い、多様な森林の造成を図った。 ・美しい森林づくり基盤整備委託料 972千円	市内4地区の森林に対して間伐、広葉樹植栽などを行い、多様な森林の造成を図る。	【森林環境創造事業】 ①赤目町長坂地区(45.97ha)②青蓮寺地区(41.84ha)③赤目四十八滝(65.39ha)の下草や広葉樹の導入を目的とする調査、間伐、受光伐、広葉樹植栽等を継続的に実施。	市内4地区の森林に対して間伐、広葉樹植栽などを行い、多様な森林の造成を図る。	市内4地区の森林に対して間伐、広葉樹植栽などを行い、多様な森林の造成を図る。	市内4地区の森林に対して間伐、広葉樹植栽などを行い、多様な森林の造成を図る。

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		972千円		800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
内訳(千円)	国・県支出金	864		720	1,300	1,300	1,300
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	108	0	80	200	200
人工数	職員		0.09人		0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等		0.00人		0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	0千円	675千円	0千円	1,200千円	917千円	917千円	917千円
①+②総事業費	0千円	1,647千円	0千円	2,000千円	2,417千円	2,417千円	2,417千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
委託業務として、市内2地区にて森林整備を実施した。本事業は長期的・計画的に施業を実施することにより、森林整備を推進することを目的としていることから、計画期間中は継続して施業を行っていくことが必要である。森林の整備により環境整備に貢献した。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
市内4地区にて森林整備を実施し、計画的に森林の適正管理を進めていく。森林環境創造事業の施業実施に関する協定を、30ha以上の一連の団地(森林)を対象に名張市、地権者、伊賀森林組合の三者で20年間の期間で取交わっており、適切な森林整備につなげている。今後、さらに協定地区の増加を図っていく必要がある。	名張市森林整備計画